

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2019年6月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539



2021年5月号

特集

切迫早産のより良いケアを模索する

切迫早産に関する研究成果や、切迫早産を経験されたご家族へのメンタルサポートの実践、海外での切迫早産に関するアンケート結果などを紹介します。本稿を通じて、切迫早産のより良いケアについて、改めて考えることができればと思います。



2021年4月号

特集

産後うつを防ぎたい！

新型コロナウイルス感染症予防のため、かつては当たり前であった妊婦と助産師の交流や妊婦同士の出会いが困難になっています。孤立からメンタルヘルスの悪化、そして産後うつにつながるのを防ぐために、今だからこそ実施したい具体策をご紹介します。



2021年3月号

特集

コロナ禍で必要な若年女性への支援とは？

若年女性の思いがけない妊娠に対しては、細やかな支援が必要とされます。「若年妊娠に関すること」「妊娠の不安におびえる若年女性へのサポート」「予期せぬ妊娠の前に必要な活動」というテーマを取り上げ、若年女性に必要な支援について考えます。



2021年2月号

特集

妊婦・母親との会話で役立つ質問と受け答えのコツ

助産師外来や母乳外来、両親学級の場合などで、妊婦たちから相談を受けるといいます。その時、どのような声掛けや態度をとれば、信頼を得ることができるのかに着目し、コツをご紹介します。カウンセリングの基本と、現場での具体例から解説します。



2021年1月号

特集

産後の母子を支える想いを聴く

産後の母子を主な対象とした支援を行っている助産師の方々に、サービスを開始し、携わらる中での想いを伺いました。産後ケアに携わる方、今後携わろうとしている方に対して、先駆者の知見、そして情熱を共有し、特集を通じてこれからの産後ケアを考えます。



2020年12月号

特集

臨床現場での“触れる”の今後を考える

新型コロナウイルスの世界的な蔓延で、人との距離を取らざるを得なくなりました。この事態を助産の現場ではどう捉え、どのような代替策を講じているのか、さまざまな工夫と、妊産婦や家族に安心を届けている実践をご紹介します。

2020年 特集

- 11月号 母子に向けた流行感染症対策 新型コロナウイルス感染症を中心に
- 10月号 What's new? 最新情報をお届けします! 『乳腺炎ケアガイドライン 2020』ダイジェスト
- 9月号 助産師が学び、実践したい骨盤ケア
- 8月号 胎児の病気が見つかった時 妊婦と家族のどんな選択も支える助産師に
- 7月号 災害時に母子を支える体制づくりを目指して
- 6月号 ①「助産」とは何か 改めてその専門性を問う/②助産師の新たなアプローチ 子どもを持つ女子受刑者の出所後も含めた支援とケア
- 5月号 妊娠前からできる虐待防止の方策 「気になる妊婦」を見つけるための連携と支援